

令和6年度石垣市立八重山博物館（新館）基本計画策定に伴うパブリックコメント結果（公表版）（石垣市企画部観光文化課博物館建設準備室）

| 番号 | 皆様からのご意見（要約） | 市の考え方等 |
|--|--|---|
| 1 新しい博物館の基本的な考え方について、資料を読んだのご意見 | ・とても良い | |
| | ・基本的な考え方については良い。八重山地方の自然、歴史、文化等を楽しみながら理解する、過去から未来を考える、対話を促す、公園機能を有する等、メディアとしての活用が期待できる。新しい博物館は必須。今後の観光誘客にも有効。 | |
| | ・八重山の自然と生業に触れることができる取り組みについては高い評価をしたい。コミュニケーターやボランティアについて基本計画でも触れて欲しい。 | ・基本計画策定書の中では、組み入れたいと考えています。 |
| | ・言葉だけになり、本当に博物館に機能を持たせられるか疑問が残る。 | ・実現できるよう、しっかりと取り組んでいきます。 |
| | ・新しい博物館の内容には、とても興味がある。 | |
| | ・「八重山美術館・博物館」にして、現代の生きたアートにもう少し焦点を当てて欲しい。これからの未来を担う若い、生きたアーティストやパフォーマーが発表できる場を作って欲しい。 | ・企画展示室等については、市民その他団体に貸し出すことも検討しており、多くの皆様にご活用いただきたいと考えています。 |
| | ・憩いと賑わいの空間というのは支持できるが、挿絵のような屋外のライブやイベントスペースは不要。博物館の本体である収集・保存・調査・研究・修復等とともに、展示・体験・学び等がしっかりとできる博物館であってほしい。 | ・ご意見、ありがとうございます。屋外のスペースは、通常は無料で市民憩いの場として活用していただき、イベント時などには有料で貸し出すことを検討しています。博物館の本体である学芸業務については、ご指摘のとおりであると考えます。 |
| | ・保存や研究などのバックヤード的な施設と展示などの学び施設は、必ずしも同敷地になくてもいいと思う。 | ・「収蔵庫や執務室的な部分を展示室と分ける」というご意見、ありがとうございます。ご指摘のように分けるという考えも検討しています。しかしながら、博物館資料は、虫害から守るため、館外へ出すと館内へ戻すたびに燻蒸や消毒が必要となります。また、度重なる異なる環境への移動は資料の劣化につながります。このような考えから、できる限り、同じ建物内での保管が望ましいと考えています。 |
| | ・屋外ではなく、屋内に八重山郷土料理を紹介するブースと共にそれらが食べられる飲食店を設置したほうが良い。 | ・ご意見ありがとうございます。博物館内での飲食店設置につきましては、虫害などの問題や営業時間の問題から、どうしても制限があります。そのため、今回の案では、館の外で博物館の休館日、閉館後の時間でも自由に営業できる方法が良いのではないかと考えています。 |
| ・国内外の博物館から展示物を借りて企画展をするのは大掛かりとなるが、それができるとなるとしっかりとした博物館になってほしい。 | ・ありがとうございます。他館からの資料等を借用了り、様々な巡回展を受け入れられるよう、新しい博物館も、登録博物館を目指していきます。 | |
| 2 新博物館の事業活動（案）について、資料を読んだのご意見 | ・美術館も造って欲しい。民具や織物、染物などを手掛ける一般の人も多いので、貸しスペースでの美術や工芸の普及・伝承には良いと思う。 | ・ご意見、ありがとうございます。市民の皆様には、ぜひ貸しスペースを活用していただきたいと思います。 |
| | ・観光客が（特に雨の日に）ゆっくり滞在できるような工夫（カフェや体験コース）も欲しい。 | ・ご意見ありがとうございます。市民はもちろんのこと、石垣島に興味を持っていらっしゃる皆様にとっても学びがあり過ごしやすい施設となるよう計画を進めていきます。 |
| | ・博物館基盤活動において、常設展示、企画展示においても体験型のものが少ないように見受けられる。ただ、展示、解説だけに偏る可能性（既存の文章がレプリカや知育遊具等）が否めない。企画段階で具体的に体験できる、ものがたりのある八重山の自然、歴史、文化、生業を明確にした展示の実現を期待したいところ。 | ・ご意見ありがとうございます。新博物館では、現博物館で実施していることも博物館教室や民具づくり教室などに加えて、これまでスペースの関係で実施できなかった取り組みにも挑戦する計画です。市民の皆様への期待に沿えるよう、計画を進めていきます。 |

令和6年度石垣市立八重山博物館（新館）基本計画策定に伴うパブリックコメント結果（公表版）（石垣市企画部観光文化課博物館建設準備室）

| 番号 | 皆様からのご意見（要約） | 市の考え方等 |
|--|--|---|
| <p>新博物館の事業活動 2（案）について、資料を読んでのご意見</p> | <p>・八重山諸島は島そのものが地域資源であり保存する価値のあるものである。博物館事業としてフィールドにでて伝えるような取組ができないものだろうか。</p> | <p>・ご意見ありがとうございます。現在の博物館は、歴史・民俗が中心でしたが、新しい博物館では自然も取り入れた展示を計画しています。その中で、フィールドに出かける取り組みが実施できればと考えます。</p> |
| | <p>・学習・創造支援活動、交流・地域連携活動については、スタンダードな内容であるが期待を持てる。</p> | |
| | <p>・博物館基盤活動や交流・地域連携活動も良いと思う。</p> | |
| | <p>・物や知識を並べて見せるというというのは、少し時代遅れに感じる。もとは欧米の帝国主義的な趣味。だいたい過去のものではないか。欧米でもその反省から、お客さんを呼び戻すため、博物館はもっとストーリーを持った生きた現代アートの実験の場となっている。物や知識を体験型の企画やストーリーにして、お客さんの体験に焦点を当て全感覚に訴える八重山を表現する場となることができれば、話題性も高まり、観光客の招致に結びつくだろう。チームラボのような音と光の展示の中に、昔の農作業の風景が描かれれば農道具も生きてくる。現代アートで八重山の自然を表現(説明)してもいい。それをプロダクトにすれば、良い収入にもなるだろう。伝統と現代アートの融合は可能。</p> | <p>・ご意見ありがとうございます。現在実施しているのは、基本計画というものになります。この後に、展示計画を策定する中で、展示方法なども検討いたします。また、新博物館を計画する中では、現博物館が所蔵する2万点を超える資料の保管、活用も重要になります。さまざまな課題をクリアしながら、多くの皆様が楽しんでいただける博物館づくりを目指します。</p> |
| | <p>・目玉となる有名な作品がなくても、美術館機能もあってほしい。ルーブルなどの博物館は、特に美術館と銘打っていないけれどもあるのがあたり前のような施設。</p> | <p>・ご指摘ありがとうございます。日本語、英語、フランス語でも「博物館」の中に「美術系博物館＝美術館」が包含されています。いろいろなものが楽しめる博物館づくりを目指します。</p> |
| | <p>・ヨーロッパの施設ではよく行われている、館内での模写などを認め興味がある人の成長に役立ててほしい。個人からクラス単位でデッサンやパステルなどしている方を見かける。</p> | <p>・ご提案ありがとうございます。市民、観光客の様々なニーズに応えられるよう、展示室面積も確保したいと考えます。</p> |
| | <p>・網かき・旗頭の擬似制作やクバの葉扇など、伝統行事や伝統的に使われてきた用具の制作者の養成もかねた体験できる機能も必要。</p> | <p>・ご提案ありがとうございます。集落によって材料や手法が異なるものも考えますので、地域の伝統的技術の保存に博物館も活動の場を確保しながら協力できればと思います。</p> |
| <p>建設候補地について、それぞれのメリット・デメリットを読んだ自由意見 3</p> | <p>【A案：現博物館の場所】</p> <p>・狭すぎるので却下。</p> <p>・学校団体、観光客を受け入れることは、物理的に不可能。</p> | <p>・ご意見、ありがとうございます。皆様からのご意見も踏まえつつ、石垣市で責任をもって決定していきます。</p> |
| | <p>【B案：第一苗畑】</p> <p>・既存交通ルートセンサスでは厳しいが、交通機関の協力で改善が図れる。地形等を利用することも、建築デザイン、ランドスケープデザインとして十分可能性がある。森林についても、野外フィールドとして動植物観察の場として整備することも可能。夜の博物館の生き物観察、星空観察も可能で、市民、観光客の利用が浸透すると考える。</p> <p>・施設規模や駐車場の確保ができ、津波などの災害から資料が守られる。</p> <p>・（他2案と比べると）十分な敷地や予算面でも負担や建設までの時間がかからないと考える。</p> <p>・自然との共生を訴える施設になる。</p> | |
| | <p>【C案：旧空港跡地】</p> | |

令和6年度石垣市立八重山博物館（新館）基本計画策定に伴うパブリックコメント結果（公表版）（石垣市企画部観光文化課博物館建設準備室）

| 番号 | 皆様からのご意見（要約） | 市の考え方等 |
|--|--|---|
| <p>3</p> <p>建設候補地について、それぞれのメリット・デメリットを讀んでの自由意見</p> | <p>・市民も観光客も行きやすく、現在イベントなどが多数行われてる。</p> <p>・交通ルートセンサスが容易である。</p> <p>・フルスト原遺跡に近接していれば、八重山文化を強調できると思う。フルスト原遺跡はストーリー性で良いと思う。</p> <p>【その他のご意見】</p> <p>・少しでも早く開設すべき(時期優先)と思う。車移動が主体と考えると、ターミナルからは多少遠くとも、広く、1日ゆったりできるほうが良い。そのためにも、カフェやランチ、体験コースの充実を図るべき。</p> <p>・湿気と揺れの対策は、どこの立地でもしっかりとした整備は当たり前なので、地面から湧く湿気も含めて対応できれば問題はないと思う。津波対策は必要だが、そのことに気をとられすぎると、本末転倒になり行きにくい・利用し難い施設になってしまう。建設場所は、路線バスが定時1時間に1本以上、開館前30分から閉館後30分あともまで走っているようにしないと、移動手段がない人が訪れることができないので強く望む。</p> <p>・私の考える理想の候補地は、旧市役所跡地。水族館よりも博物館が望まれる施設と思っている。1階に駐車場や商業施設、2階(できれば3階以上)に展示・体験・学びスペースと次期展示品のための保管庫とし、その他の機能は十分な広さのある市有地へ建設することでいいと考える。副次効果として、市役所移転のための空洞化もさけることができると思う。</p> <p>・候補地ではないが 旧市役所跡地が一番良いと思う。自由に敷地をつかえる パンナの麓は 年配者の行き来が難しい。平日の日中こそフルにつかえるようにできたら良いと思う。基本理念から考えると 建設場所については島の先輩方が日常的に通える場所が必須であることが第一条件であると思われる。予想以上に塩害、紫外線と湿度の問題が大きいですので空調設備など気を使う為管理のしやすい市街地が良いと思う。(他県で 森林地につくって建物の劣化が激しく 展示物の管理ができない事例があった)人々が足を運びたいような デザイン性の高い 創造的な建築設計であって欲しい。ワクワクするような石垣島の新たなスポットの誕生を希望したい。</p> | <p>・ご意見、ありがとうございます。皆様からのご意見も踏まえつつ、石垣市で責任をもって決定していきます。</p> |
| <p>4</p> <p>その他、自由意見</p> | <p>・①1日も早く ②広く、1日でもいられるような施設 ③雨でも行ける ④一般の作品も期間展示。八重山は自然だけでなく、工芸や美術にも優れた点をアピールし、実際に体験させるのが良いと思います！</p> <p>・現在の博物館は生涯学習としての機能、観光客を誘致する機能が存在しておらず残念ながら倉庫のような状況となってしまう。新博物館においては、石垣市のみならず、八重山諸島の自然、文化、歴史、生業、環境を伝えるメディアとして「ほんもの」を体験することができ、かつ、「屋内外を有用に活用」できるものと期待しております。</p> | |

令和6年度石垣市立八重山博物館（新館）基本計画策定に伴うパブリックコメント結果（公表版）（石垣市企画部観光文化課博物館建設準備室）

| 番号 | 皆様からのご意見（要約） | 市の考え方等 |
|------------|---|--------|
| 4 その他、自由意見 | <p>・ 科学館や博物館の企画、整備段階において、コンサル等が入ることで、ただの箱物のような飾り気のない伝えること、体験できるものが実は存在しない博物館は全国に多く存在している。現在は、水族館や美術館をはじめ、多くの博物館は「メディア」として「メディア」を発信する機能を体験を通して行っており地域の学習の基盤となるだけではなく、新たな観光資源として期待が十分に可能な施設となるのは間違いありません。有識者の中には、児童や生徒もぜひ取り入れて子ども博物館としても魅力を持たせてほしい。そして、方向目標と到達目標をもって、新しい博物館が計画、整備、竣工されていくことを期待したい。</p> <p>・ 新しい博物館ができることで最初は来場者も多かと思いますが、年に数回でも地域かたが参加したいと思う企画などがあれば参加したいです。各地域には多くの歴史があると思います。その歴史が調べられることで移住者たちの苦勞を知り今を生きる事に感謝しながら、これからも住みよい石垣島を創るための知恵や努力ができると思います。</p> <p>・ 八重山には世界に誇れる素晴らしい文化がありますので、それを世界に伝えるお手伝いができたらこの上ない誉れです。</p> <p>・ 日本的な要素だけでなく、欧米の博物館に関する考え方を取り入れ、柔軟な運営を望みます。そして郷土に根ざした施設整備をしていただくと、観光客も来館者も増えると思います。バリアフリーについても、名目だけにならないようにして、利用する方の考え方 福祉施設整備の設計を専門にしている方や携わった方の意見も取り入れてください。</p> | |

| 番号 | 皆様からのご意見（要約） | 市の考え方等 |
|------------|--|--------|
| 4 その他、自由意見 | <p>・次のような事を提案します 様々な世代の人々の交流スポットの役割を果たす【八重山の文化館】 博物館というと 単なる物の展示にとらわれがちであるが、八重山には沢山の無形文化財的な物が存在している。それらを中心に据えた八重山らしい施設を作ることはできないか。また、博物館というネーミングのイメージを変えて より親しみやすいものにしてはどうだろうか。</p> <p>(1) 常設展と企画展 ～八重山の魅力～ 誇れるものは何か思い当たることを挙げると 以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然の生き物 動物、昆虫、植物、魚 ●すまむに ●各集落の唄、踊り ●着物や織物、ミンサー ●郷土料理と島の食材 ●ならわし、しきたり、それらに纏わる道具やお供物、言葉 ●各集落の御嶽 ●昔話 ●アンガマなどの行事、面 ●独特の地形、星や空 ●祭り <p>まだ他にも沢山の事物がある。 これらの中には昔を知る年配者との連携は不可欠である者が多いことがわかる。特にすまむにに関しては早急な手立てが必要であると思われる。</p> <p>博物館の常設展や企画展、ワークショップでの交流を図る。</p> <p>(2) 市民が 文化的な活動のなかで求めているものや課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●郷土芸能をはじめ 音楽、踊り 唄、茶道、美術 歴史研究などの学びや鑑賞の場、展示ホールや屋内ホール、市民利用スペース ●歴史や自然史、民芸品など 専門的に学べるワークショップへの参加機会 ●魅力的な企画展とアイデア豊富な学芸委員の在籍 ●全天候型の 交流施設 場所 ●学生が勉強出来るスペース ●発掘や自然探索など子供の為の体験学習の場 ●子供たちの美術作品の展示 ●すまむにや八重山の昔話しの継承 ●八重山郷土料理が食べられる飲食店と休憩所 <p>※ 特に日中の活動時間に余裕がある年配者の方々が この新文化施設を利用出来ることが重要であると思う。 また、子供や労働世代は 基本的に夕方以降か休日のみが 活動できる時間帯である。</p> | |